

## 令和5年度 第5回 牧田小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年2月2日（金）14：00～15：00

2 場 所 多目的室

3 あいさつ（学校長，委員長）

<委員長>

能登半島のご冥福を祈ります。

地震はいつ起こるかわからない。登下校時は子どもたちだけになるので、学校、保護者、地域が連携して取り組んでいけるとよい。

不登校児童が全国で11万人を超えているが、対応できていない児童がいる。

<校長>

子どもの様子について

- ・大谷翔平グローブ、どう貸し出すかを児童集会で伝えていきたい。
- ・子どもの状態は疲れ気味の子はいるが落ち着いている。
- ・3年2組がインフルエンザで学級閉鎖中
- ・自分の命はまず守り、どこで落ち合うか場所を決めておくということを学校では取り組んでいる。
- ・不登校対応としてほっとルーム設置2年目になり、効果が大きく、100日以上欠席していた子が数十日になっている。
- ・新規の子は別として全体的には効果が出ている。
- ・学力が向上しつつある。令和6年度の市の研究発表会に向けて全教職員が授業力向上に取り組んでいる。

<A 委員>

- ・ほっとルームではどういうことをしているか。
- ・教室以外で学びの場となっている。教室には入れない、教室だと登校できない児童が過ごしている。
- ・ほっとルームを希望する場合は事前に保護者と引継ぎ支援会議を開く。
- ・市内の全中学校にはあるが、小学校も少しずつ増やしている。牧田小学校は2年目になる。

4 協議内容

(1) 学校教育活動アンケートの結果について（別紙）

- ・校長から各項目についてデータの推移と分析を説明

<B 委員>

- ・保護者アンケートの回収率を記した方がよい。回答に関心がある保護者のアンケートになってしまうと肯定的な意見が多くなり保護者の評価が高くなる。また、保護者と児童アンケートと似ている部分もあるので、保護者と児童の対比もしてクロス集計できるとよい。
- 改善していきたい。

(2) 学校自己評価・学校関係者評価について（別紙）

- ・校長から今年度の学校自己評価を解説。今回の会議を受けて各運営協議会委員の意見を2月15日までにいただきたいと伝える。

<B 委員>

- ・こうことやったという取組が必要。具体的な取組を記入できるとよい。そうでないと意見が書きにくい。

→具体的な取組を次年度は記載できるようにしていきたい。

<C 委員>

- ・働き方改革の部分で、児童が集団登校の出発時間が遅くなったためか、旗当番で立つ人が少ない。また、横断歩道等を渡る際に待ってくれている車の方があるので、「止まってくれてありがとう」が言えるとよい。

→保護者の仕事のこともあると思うが、年に数回の旗当番なので協力できるようにPTAと連携して取り組んでいきたい。「止まってくれてありがとう」運動は、今年度取り組んでいることなので、再度児童に周知していきたい。

(3) 最近の学校の状況について

② 行事等について

- ・コロナ渦ではなくなったが、卒業式の来賓は、学校運営協議会の委員長・副委員長、PTA会長・副会長までと考えている。また、児童についても6年生のみの卒業式を考えている。

5 教育委員会より

- ・学校関係者評価については、意見が言いやすい資料を出すことが大切。回率についてもすべての保護者から意見がもらえるようにするとよい。
- ・評価の記入については、キーワードがあるので、アンケートを見て保護者の視点で、地域の視点で記入いただけるとよい。例えば、人権については、牧田万博に取り組んでいるので、人とのつながりについて考えてもらえるとよい。働き方改革については、教職員が落ち着いた環境で働くことで気持ちよく子どもと接することができるので、朝の見守り活動は地域がすることで子どもを迎えられる等の意見をいただけるとよいのではないかと思います。
- ・関係者評価に記入いただいたことを踏まえてどうしていこうかと話が進み、牧田小の経営方針につながっていく。
- ・わからない言葉等があれば学校から回答いただけるので質問してほしい。